

兼六園の雪吊りについて

特別名勝「兼六園」では、雪害から樹木を守るため、毎年、雪吊りを実施しています。この雪吊りは、北陸の冬の風物詩となっており、今年も下記のとおり作業を行います。

記

1 作業開始日時 11月1日（金） 午前9時から

2 作業開始樹木

からさきのまつ
「唐崎松」

園内随一の枝ぶりを誇るこの松は、5本の芯柱が立てられ、総数約800本の縄で枝を吊ります。

なお、当日雨天の場合は、樹高の低い木から作業を開始します。その場合、唐崎松の雪吊りは11月5日（火）午前8時を予定（雨天順延有）していません。

3 兼六園の雪吊りの概要

(1) 種類と本数

- ・リンゴ吊り 52本 (唐崎松、すごも巢籠り松ほか)
- ・幹吊り 59本 (根上松、播州松ほか)
- ・その他 約700箇所 (ツツジほか)

(2) 使用材料等

- ・わら縄 約4,000kg (径6mm及び8mmの2種類を使用)
- ・芯柱 アテ丸太、真竹

(3) 延べ作業人数

約500人

(11月1日から、庭師6名、造園業者6名にて実施)

(4) 作業終了時期

12月中旬（予定）